

遠軽町を取り巻く近年の主な社会経済情勢

H29. 7. 18 遠軽町企画課

○国の情勢

- ・アベノミクスの取組の下、日本銀行による大規模金融緩和が続けられており、H26. 4 の消費増税、安全保障問題や中国やヨーロッパの政治・経済の不安定要因により、悪影響が認められ、消費や設備投資に弱さがあるものの、雇用状況は回復傾向が続いており、全体としては緩やかな回復基調となっている。
- ・H26. 5 の日本創生会議が発表した「2040 年までに 896 自治体が消滅する可能性がある」としたいわゆる「増田レポート」を機に人口問題がクローズアップされ、同年 11 月に「まち・ひと・しごと創生法」などの関連法が成立した。

○地方自治に関する動き

- ・地方自治法の改正等については、幾度かされているが、自治のあり方に大きく影響を与えるものはない。

○オホーツク圏経済情勢報告（北海道財務局北見出張所）

- ・H29. 5 「管内経済は、一部に弱さが残るものの、緩やかに持ち直している。」
- ・H28. 5 「管内経済は、一部に弱さが残るものの、緩やかに持ち直している。」
- ・H27. 5 「管内経済は、一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる。」
- ・H26. 5 「管内経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要及び反動減がみられるものの、緩やかに持ち直している。」

○遠軽町の近年のトピック

- ・高規格道路遠軽瀬戸瀬 IC 開通（H29. 3）。数年後には豊里 IC までの開通が見込まれている。これに伴い、ロックバレースキー場と併設して道の駅を整備する構想を推進中。
- ・福祉センターの老朽化に伴い、音楽ホールを有する代替施設「(仮称) えんがる町民センター」建設構想を推進中。
- ・遠紋 2 次医療圏センター病院遠軽厚生総合病院における医師不足に伴う、診療科の縮小及び経営赤字の拡大。
- ・JR 北海道の資金難に端を発する路線見直し問題において、見直し対象路線として石北本線が挙げられる。
- ・H26. 3 「第 2 次遠軽町総合計画」策定

- ・H27.12「遠軽町人口ビジョン」「“縁（えん）があるまち” 遠軽町まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定
- ・H28.6「遠軽町町民憲章」「遠軽町の花、木、石、魚及び蝶」制定

○人口動態

- ・H26.3末とH29.3末で比較すると、全体の減少率は6%程度だが、生田原、丸瀬布及び白滝地域の減少率は10%以上となっている。
- ・人口減少する中、高齢者の人口は微増の状況となっており、高齢化が進展している。

人口動態

地域名	平成26年3月		平成29年3月		増減数		増減率	
	人口	世帯	人口	世帯	計	世帯	人口	世帯
生田原地域	2,014	938	1,810	882	△ 204	△ 56	90%	94%
遠軽地域	17,285	8,457	16,565	8,383	△ 720	△ 74	96%	99%
丸瀬布地域	1,608	901	1,401	801	△ 207	△ 100	87%	89%
白滝地域計	809	416	707	370	△ 102	△ 46	87%	89%
合計	21,716	10,712	20,483	10,436	△ 1,233	△ 276	94%	97%

高齢者人口(65歳以上)

	遠軽		生田原		丸瀬布		白滝		合計	
	人数	高齢化率	人数	高齢化率	人数	高齢化率	人数	高齢化率	人数	高齢化率
		計		計		計		計		計
平成26年3月	5,279	30.77 %	764	38.55 %	729	45.91 %	354	44.36 %	7,126	33.11 %
平成29年3月	5,533	33.40 %	742	40.99 %	705	50.32 %	348	49.22 %	7,328	35.78 %
増減	254	2.63 %	-22	2.45 %	-24	4.41 %	-6	4.86 %	202	2.67 %

高齢者人口(75歳以上)

	遠軽		生田原		丸瀬布		白滝		合計	
	人数	高齢化率	人数	高齢化率	人数	高齢化率	人数	高齢化率	人数	高齢化率
		計		計		計		計		計
平成26年3月	2,796	16.30 %	442	22.30 %	422	26.57 %	193	24.19 %	3,853	17.90 %
平成29年3月	2,970	17.93 %	416	22.98 %	421	30.05 %	193	27.30 %	4,000	19.53 %
増減	174	1.63 %	-26	0.68 %	-1	3.48 %	0	3.11 %	147	1.63 %